

Seasonal News Pomp and Classics!

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0022 東京都品川区東五反田5-24-9 五反田パークサイドビル5F

2022年12月8日発行 第38号 (季刊・毎年2、5、8、11月発行) 発行人: 入山功一 編集人: 中村聡武

CLASSIC

TEL 03-5488-6777 FAX 03-5488-6779 E-mail info@classic.or.jp https://www.classic.or.jp/

本紙タイトルの「ポンプ&クラシックス Pomp and Classics」とは、英国の作曲家エドワード・エルガーの名曲「威風堂々(Pomp and Circumstance)」のタイトルを転用し、華やかにクラシック音楽を盛り上げていきたいとの想いから付けられました。

INDEX

P.1 クラシック・キャラバン2022

P.2 Activities

P.3 What's New

P.4 会員一覧/リレーエッセイ

クラシック・キャラバン2022「クラシック音楽が世界をつなぐ～輝く未来に向けて～」 残すところ4公演!

主催: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会、ほか本会会員社

助成: 文化庁「統括団体によるアートキャラバン事業」(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

本会はただいま、クラシックの名曲の生演奏による華やかな響きと大迫力の舞台を、北海道から沖縄までの全国17都道府県にて21公演行う標記ツアーを、文化庁の助成の元、昨年に引き続き開催中です。コロナ禍により特に地方での鑑賞機会が減少する中、数々のクラシックの名曲を全国の幅広い世代の方々にお楽しみいただくと同時に、演奏家・芸術団体・事業者や関連産業のコロナ禍からの再興を図る事も目的としています。

各公演はフリーランス演奏家等により特別に結成したスーパー・クラシック・オーケストラが出演する大規模な「華麗なるガラ・コンサート」と、室内アンサンブル中心に特色あるプログラムでお送りする「煌めくガラ・コンサート」の2種類に分かれ、9月18日から12月8日まで既に17公演が終了し、多くのお客様から温かい拍手をいただいております。

9月29日東京・サントリーホール公演では、プログラム最後の曲としてワーグナー作曲 歌劇「ローエングリン」よりスペシャル抜粋バージョンが披露されました。パンダ(主となる本来の編成とは別に、多くは離れた位置で「別働隊」として演奏する小規模のアンサンブル)や、照明による演出も相まって、会場は非常に盛り上がりを見せました。写真は出演者総出、お客様も手拍子で参加した、アンコールのラデツキー行進曲の演奏風景です。



© 堀田力丸

10月10日東京・オペラシティ公演では、「ヴェルディ生誕210周年記念」と題し、ヴェルディ作曲の歌劇「椿姫」「運命の力」「アイダ」「ファルスタッフ」「ナブッコ」から、ソリスト達によるアリアや、藤原歌劇団合唱部と

東京二期会合唱団による合唱など、圧巻の演奏が繰り広げられました。

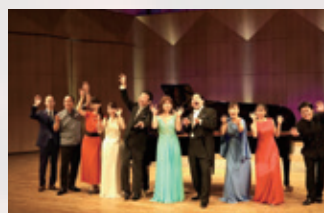


© 林嘉代種

当クラシック・キャラバンの特色の一つは、統括団体の主催ならではの、組織の垣根を超えたアーティスト達の共演が見られること。出演者からも「普段一緒に活動する事のない方と一緒に演奏できる事は得難い機会で、とても貴重な経験」と好評をいただいております。



9月23日 メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)にて、ピアソラ作曲のタンゴの名曲を。お客様も出演者も大満足の熱演でした。



10月2日 沖縄県南城市文化センター・シュガーホールにて。沖縄らしくシーサーのポーズで!



9月18日 静岡市清水文化会館マリナートにてリハーサル。芸術性を保ちつつ感染対策上の距離もしっかり取っています。

12月は残すところ4公演、東京・王子ホール(9日)、香川県県民ホール・レグザムホール・小ホール(13日)、高知県立県民文化ホール・グリーンホール(15日)、倉敷市芸文館(22日)にて行います。引き続きご声援をお願いいたします。

<https://www.classic-caravan.com/>

Activities

- 8月2日 クラシック・キャラバン2022 記者会見
(於:東京オペラシティ リサイタルホール)
- 9月1日 クラシック・キャラバン2022 第5回運営委員会
- 9月12日 クラシック・キャラバン2022 第6回運営委員会
- 9月18日 クラシック・キャラバン2022
愛知公演本番(於:愛知県芸術劇場コンサートホール)
静岡公演本番(於:静岡市清水文化会館マリナート)
- 9月23日 クラシック・キャラバン2022
宮崎公演本番(於:メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場))
- 9月25日 クラシック・キャラバン2022
北海道公演本番(於:札幌コンサートホール Kitara 大ホール)
- 9月27日 クラシック・キャラバン2022
岩手公演本番(於:岩手県民会館)
- 9月29日 クラシック・キャラバン2022
東京サントリーホール公演本番(於:サントリーホール)
- 10月1~2日(土~日) クラシック・キャラバン2022
沖縄公演本番(於:沖縄県南城市文化センター シュガーホール)
- 10月5日 令和4年度第1回関西地区連絡協議会
(於:ザ・シンフォニーホール)
ガイドライン改定に向けた意見交換を行いました。
- 10月6~7日(木~金) [協会受託事業]公共ホール音楽活性化事業2023-2024登録アーティスト集合研修
一般財団法人地域創造・主催、当会・制作協力の標記事業について、今年5月に1次選考(音源・書類審査)、7月28・29日に2次選考(実技)を行い、多数の応募者中、下記7組11名の演奏家の皆さまが、2023-2024年度登録アーティストとして合格されました。(敬称略)



関喜 弦介
(ギター)



今田 篤
(ピアノ)



水谷 桃子
(ピアノ)



上田 純子
(ソプラノ)



西村 悟
(テノール)



Modétro Saxophone
Ensemble
(サクソフォン四重奏)



カメハ
(パーカッションアンサンブル)

今回2日間通して行われた上記登録アーティスト対象の「集合研修」では、2023-2024年度の2年間、同事業登録アーティストとして全国でアウトリーチやコンサート活動を行う演奏家が、アウトリーチのカリキュラム作りや地域で求められるアーティスト像等について学び、来年度からの活動に備えるためにワークショップの体験やディスカッション等を行いました。今後実際のアウトリーチ活動を行う「実地研修」でさらに研鑽を積み、2023年4月から登録アーティストとしての活動を始めます。ご期待ください。



※なお今回のオーディション合格者でマネジメントに所属していないフリーの演奏家4組については、当会が斡旋したマネジメントに所属しこの活動を行っていただくこととなりました。

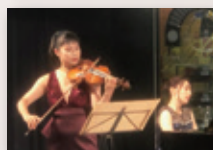
- 10月9日 クラシック・キャラバン2022
山形公演本番(於:山形テルサホール)
- 10月10日 クラシック・キャラバン2022
東京オペラシティ公演本番(於:東京オペラシティ コンサートホール)
- 10月22日 クラシック・キャラバン2022
大阪公演本番(於:ザ・シンフォニーホール)
- 宝くじドリーム館
ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート
東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。新型コロナ感染拡大防止・ソーシャルディスタンス確保のため、当日くじ引き抽選で当せんされたお客さまのみにご観覧いただきました(東京は60名、大阪は40名限定)。お客さまには入館の際、マスク着用・手指の消毒・検温をお願いする他、客席・舞台等において様々な感染拡大防止策を講じた上で開催いたしました。



8月17日 東京

出演:

北島 佳奈/ヴァイオリン(ミليونコンサート協会所属)
新崎 誠実/ピアノ(ノジリススタジオ所属)



8月18日 大阪

出演:

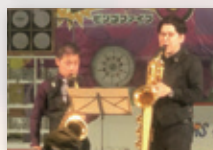
石上 真由子/ヴァイオリン(プロ アルテ ムジケ所属)
新居 由佳梨/ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)



9月21日 東京

出演:

酒井 有彩/ピアノ(コンサートイマジン所属)
加藤 文枝/チェロ(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)



9月22日 大阪

出演:

田村 真寛/サクソフォン
(ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス所属)
田中 拓也/サクソフォン(アスペン所属)



10月19日 東京

出演:

齊藤 一也/ピアノ(東京コンサーツ所属)



10月20日 大阪

出演:

甲斐 摩耶/ヴァイオリン(MIO音楽事務所所属)
新居 由佳梨/ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)

※11月以降については次号で報告いたします



What's New

速報 12月1日 中山欽吾元副会長 文化庁長官表彰受賞



当協会の推薦により、中山欽吾 元副会長(公益財団法人東京二期会評議員会議長、前大分県立芸術文化短期大学理事長兼学長、元公益財団法人東京二期会理事長)が令和4年度の文化庁長官表彰を受賞されました。永年にわたり、オペラ団体の運営に携わるとともに、後進の育成及び地方へのオペラの普及に努め、我が国の芸術文化の振興に多大

な貢献をしている功績が評価され、今回の受賞となりました。

尚、当協会推薦による文化庁長官表彰の受賞者は、中藤泰雄元会長、田中珍彦元会長、関田正幸元会長、佐野光徳元会長、茂田雅美元理事、仲道郁代理事に続き7人目の受賞です。

会員情報

【協会担当者変更】

※『クラシック音楽事業ガイド2021-2022』記載内容の変更

賛助会員 スタインウェイ・ジャパン株式会社

新担当者 真田脩史

賛助会員 株式会社テレビ東京 ビジネス開発局 イベント事業部

新担当者 中川亜佐子

賛助会員 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

新担当者 奥拓也

※敬称略、順不同。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。

今後の活動予定

●12月13日(火) 18:30開演

(於:香川県県民ホールレグザムホール 小ホール)

【協会主催事業】クラシック・キャラバン2022

クラシック音楽が世界をつなぐ〜輝く未来に向けて〜

【煌めくガラ・コンサート 〜バロックからロマン派まで、歌・ピアノ・ヴァイオリンによる饗宴〜】

S席4000円 A席3000円 U-25 1000円(全席指定・税込)

お問合せ:日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874

●12月15日(木) 18:30開演

(於:高知県立県民文化ホール グリーンホール)

【協会主催事業】クラシック・キャラバン2022

クラシック音楽が世界をつなぐ〜輝く未来に向けて〜

【煌めくガラ・コンサート 〜バロックからロマン派まで、歌・ピアノ・ヴァイオリンによる饗宴〜】

S席4000円 A席3000円 U-25 1000円(全席指定・税込)

お問合せ:日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874

●12月22日(木) 18:30開演

(於:倉敷市芸文館)

【協会主催事業】クラシック・キャラバン2022

クラシック音楽が世界をつなぐ〜輝く未来に向けて〜

【煌めくガラ・コンサート 豪華ソリストによる音楽の玉手箱】

S席5000円 A席4000円(全席指定・税込)

お問合せ:KTレーディング株式会社 03-6418-1008

●1月12日(木) 令和4年度第3回定例理事会、執行役員会

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

11月以降は次の予定です。※今後の新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性もございます。

■11月16日 東京

荒川 洋/フルート(コンサートイマジン所属)

松尾 俊介/クラシック・ギター(ミリオンコンサート協会所属)

■11月17日 大阪

奈良 希愛/ピアノ(ミリオンコンサート協会所属)

中鉢 聡/テノール(日本オペラ振興会所属)

■12月21日 東京

糸賀修平/テノール(二期会21所属)

吉川健一/バリトン(二期会21所属)

■12月22日 大阪

磯絵里子/ヴァイオリン(1002所属)

田村緑/ピアノ(ティムズム所属)

■1月18日 東京

新居由佳梨/ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)

神谷未穂/ヴァイオリン(ミリオンコンサート協会所属)

■1月19日 大阪

ヴィタリ・ユシュマノフ/バリトン(Miyazawa & Co.所属)

實川風/ピアノ(Miyazawa & Co.所属)

■2月15日 東京

加藤直明/トロンボーン(プロ アルテ ムジケ所属)

松尾俊介/クラシック・ギター(ミリオンコンサート協会所属)

■2月16日 大阪

森岡有裕子/フルート(プロ アルテ ムジケ所属)

浜まゆみ/マリンバ(プロ アルテ ムジケ所属)

※3月以降も開催予定です



クラシック公演情報と
チラシが無料アプリで

チラシ画像保存

地域・日付・ジャンル検索

公演情報&チケット購入

公演ご掲載も無料、簡単!

チラシクラシック



お問合せは当会まで

広告募集中

発行部数:600部

配布対象:協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(2月、5月、8月、11月予定)

料金:1枠(天地58mm×左右92mm)1万円(消費税別)

お問い合わせ:一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL. 03-5488-6777

E-mail. info@classic.or.jp

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、74年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けてスマートフォンを活用したコンサート情報アプリ「チラシクラシック」の運営等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展の為に事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正 会 員 (令和4年11月30日現在)

(株)朝日ビルディング・浜離宮朝日ホール
(株)アスベン
(株)アーティフィニティ
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
(株)Eアーツカンパニー
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(株)王子ホール
(有)大阪アーティスト協会
(株)大阪アートエージェンシー
(株)オフィス・フォルテ
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
Kトレーディング(株)
コンサートイマジ

(株)ザ・シンフォニーホール
(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(公財)ジェスク音楽文化振興会
(株)ジャパン・アーツ
新演コンサート / (株)カモシタピアノ
住友生命いずみホール
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)テンポプリモ
(株)東急文化村
(公財)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサート
(株)トッパンホール
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(株)日本アーティスト
(公財)日本オペラ振興会

日本コロムビア(株)アーティスト事業部コロムビアインターナショナルビジネスユニット
(株)ノジスタジオ
ハーモニージャパン(株)
Hakuju Hall
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント
(一社)ブラームスホール協会
(株)プレルレディオ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
Miyazawa & Co.
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会
(株)ラプトサウンド

賛 助 会 員 (令和4年11月30日現在)

あいおいニッセイ同和損保・フェニックスホール
朝日放送テレビ(株) イベント事業部
(株)イーラス
(公社)大阪交響楽団
(一財)小野文化財団
(株)音楽之友社
(特非)関西芸術振興会・関西歌劇団
(株)光臨社
コジマ・コンサートマネジメント
(公財)サントリー芸術財団 サントリーホール
(学)尚美学園
昭和音楽大学
(株)シンファート

スタインウェイ・ジャパン(株)
(有)ソナーレ・アートオフィス
(公財)ソニー音楽財団
第一生命ホール
(株)中京テレビクリエイション
(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 ビジネスプロデュース局
(株)テレビ東京 ビジネス開発局 イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
東海テレビ(株)
(株)東京国際フォーラム
(公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

東京労音
東武トップツアーズ(株) 関西支社
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業局
(公財)日本室内楽振興財団
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公財)びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
フェスティバルホール
(株)ぶらあぼホールディングス
毎日新聞社事業本部企画・文化事業部
(株)毎日放送事業局
三重県文化会館

三井住友海上しらかわホール
ミュージウエスト(株)
宗次ホール
ヤマハ(株)
(公財)横浜芸術文化振興財団(横浜みなとみらいホール)
(公財)ローム ミュージック ファンデーション
ワキタコルディアホール

Relay Essay 日本近現代芸能史の底辺を支えて 66年目の証言から



中坪 功雄
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
民族・伝統芸能プロデューサー

私の世代は高度成長期が始まるという時代にあたり、それまでの農山村社会から一気に重厚大産業が全盛期でした。そこには文化芸術という言葉もなく、公文協も舞台芸術鑑賞組織もありませんでした。専ら興行師に委ねられており、今では文化庁、公文協がその役を担い帽子が変わっただけです。子供たちも学校で父さんの仕事を聞かれたとき親の職業の返答が出来なくていじめに遭ったようです。私も83歳になった今でも同窓会、親戚筋でも「興行師の人」といわれ、好奇心というか偏見もたれています。会員諸氏も一言で自分は何の仕事をしているのかをお友達に言われても即座にお答え出来る人は少ないと思います。今では文化芸術は時代を先取りする最先端なメディアとして人気がありますが、一方で芸能というのは演芸等大衆芸能など程度の差こそあれ、某著名な評論家によると興行師といって単にアーティストのお世話や不本意ながら胡散臭いイメージが付きまとっています。ハローワーク(職業安定所)や銀行の貸出し先職業の一覧表を見ても私が生業としている舞台芸術分野の制作、運営などの分野が未だに職業欄にありません。加えて厚労省では興行を扱う事業者に対して、厚生労働大臣許可が必要ですが、法律が戦後に施行されてから今日まで改正されたと聞いていません。しばしばメディアで芸能関係者が事件に関係すると、いかがわしい職業の典型みたいに云われます。その訳は厚生労働大臣許可とは芸能扱い業も含む斡旋派遣業に対する法律であり、斡旋違反を起こした場合に適用起因するものです。

ところで多種分野の公演が全国何処かで毎日のように行われています。どのような仕組みで公演がされているのか?その世界が見えてこない理由は日本の芸能分類

はとても広く、公演に至る迄の流通過程が複雑多岐に渡る重層構造にあります。世間一般の捉え方は舞台芸術や国際文化交流といってもどういふものかわからないようです。どこそこの業種・企業名をいえば、直ぐに理解出来ますが、私の場合今どんな仕事をしているのか具体的な説明をしませんと一般にはわかりません。

私達の仕事はアーティストを育て世の中に出すアートマネジメントなど企画サービスを提供する付加価値が発生するビジネスです。インターネット・オンラインによる方法が急速に採用されていますが、私の長い経験から対面による営業などコミュニケーションの経験がないと、ビジネスが成立しません。それを総括するのがプロモーター、興行師などプロデューサーと色々な名称がありますが、私は民族・伝統芸能プロデューサーと名乗っています。長い現場体験から興行制作は本人の知識が如何に集約しているかにあり、次世代に引き継ぎたくても本人が知識を蓄えようとする意欲が乏しければ困難です。照明、音響、設備などは時間の経過と共に覚えられますが、企画を創造する際は日頃の知識の学習に加えて現場体験が大切です。

今回のエッセイは公益財団法人東京オペラシティ文化財団 常務理事・事務局長の後藤二郎氏がお引き受けいただきました。

伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ

神奈川県横浜市神奈川区富家町1-13スカイハイツーカイ2005
<http://www.nakatsubo.co.jp>

創立者の中坪英雄は築地小劇場出身で新劇の祖小山内薫の薫陶を受けた。昭和47年二代中坪功雄が会社設立。現在、三代中坪大輔に至る。創立者の理念を受け継ぎ66年目の企画制作会社である。実演芸術の世界では父子相伝されている例は珍しい。全国公立文化施設協会賛助会員、(公社)日本イベント産業振興会認定(イベント業務管理士一級検定資格者)を擁し、民族音楽・伝統芸能の調査研究・企画創造の開発、独自の構成・演出方法など運営管理を担う。これまで79か国に及ぶ海外民族芸能の招聘と日本の民俗・伝統芸能を海外に制作派遣を行う。中坪功雄は(公社)全日本郷土芸能協会(常務理事)、(公社)日本イベント協会(理事)、全国民俗芸能保存市町村連盟(参与)を担う。